

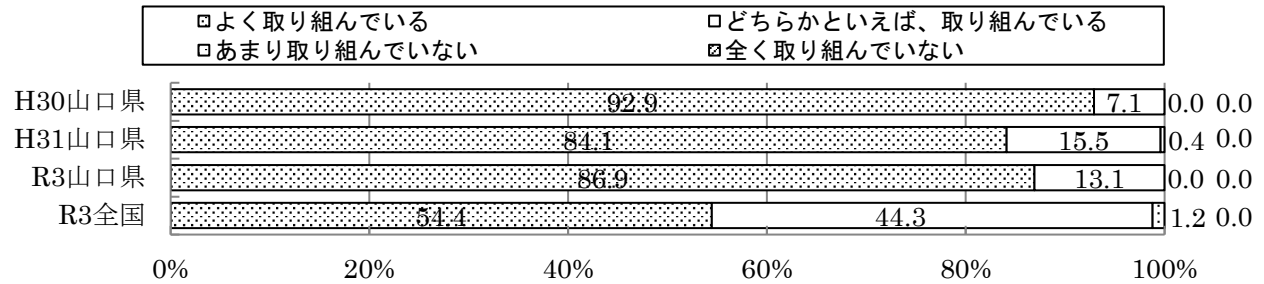
(2) 学校質問紙

① 学校運営

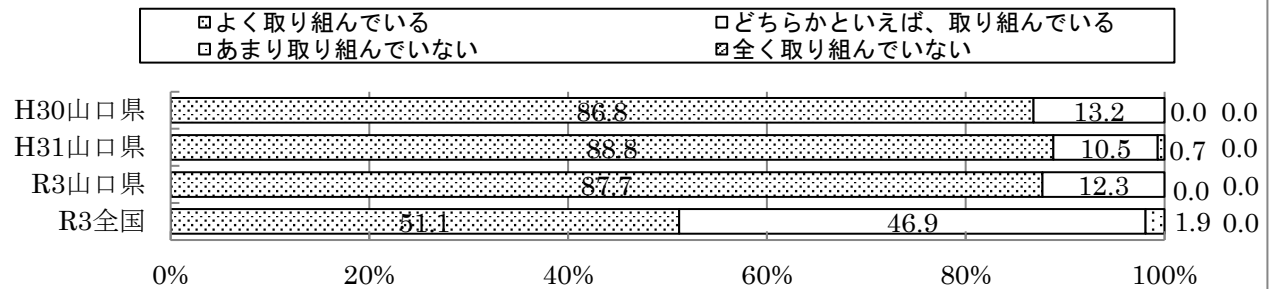
ア 学校としての組織的な取組

○ 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 17 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる



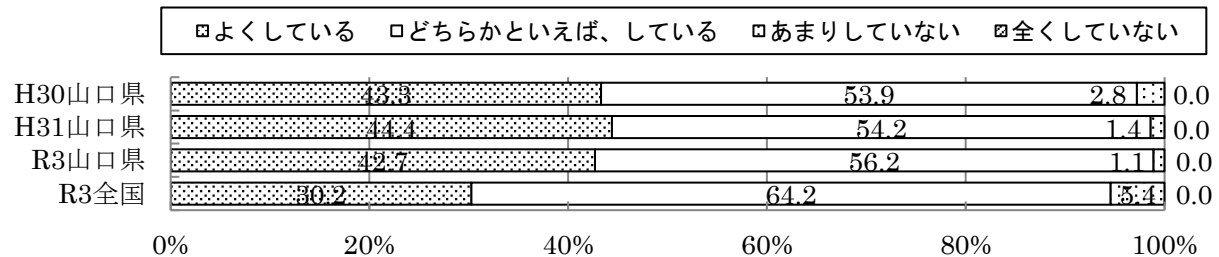
【中学校】 17 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる



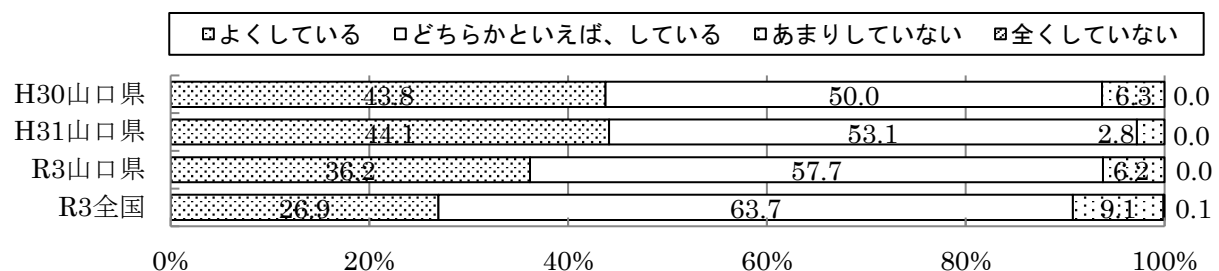
イ 横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列して指導計画を作成

● 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合は、全国と比べて高いものの、例年より減少している。

【小学校】 18 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している



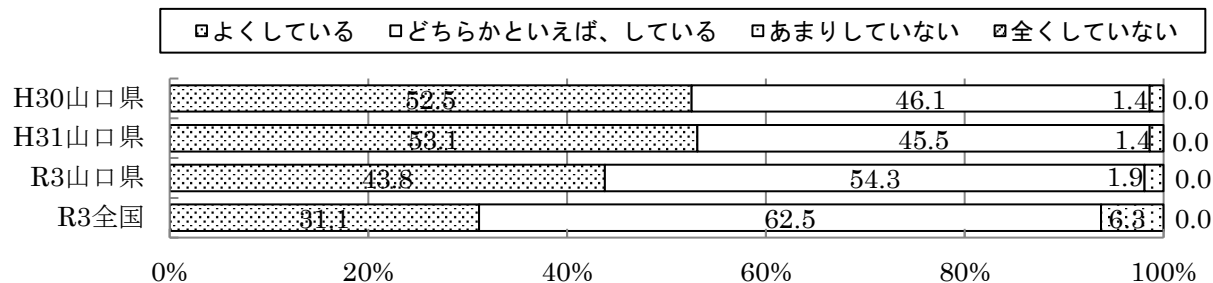
【中学校】 18 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している



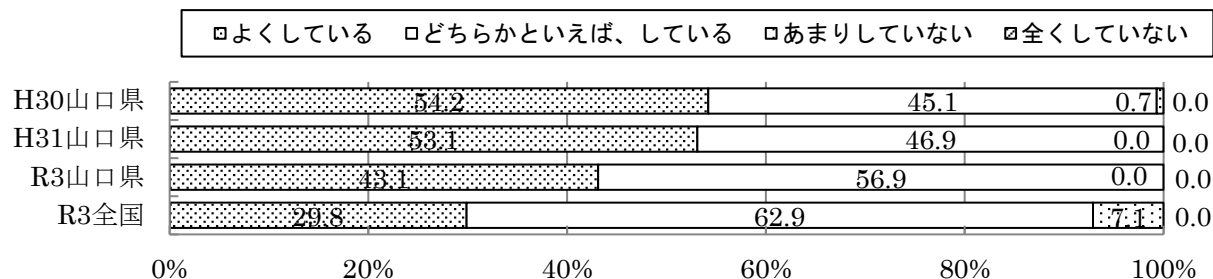
ウ 子どもの姿や地域に関するデータ等に基づいたPDCAサイクルの確立

- 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合は、全国と比べて高いものの、減少傾向にある。

【小学校】 19 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している



【中学校】 19 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している

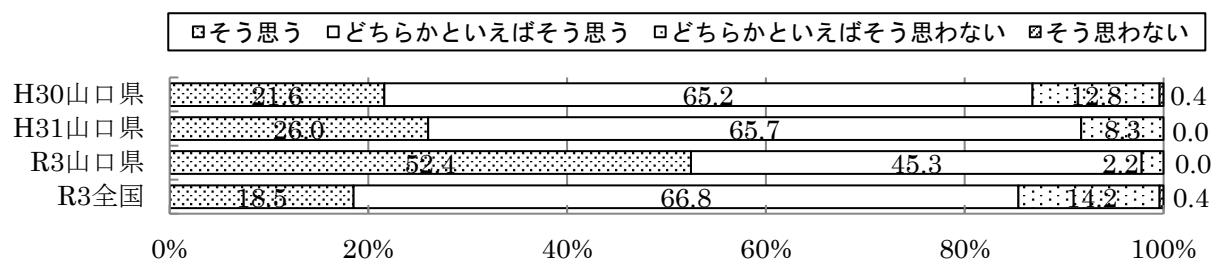


② 学習指導

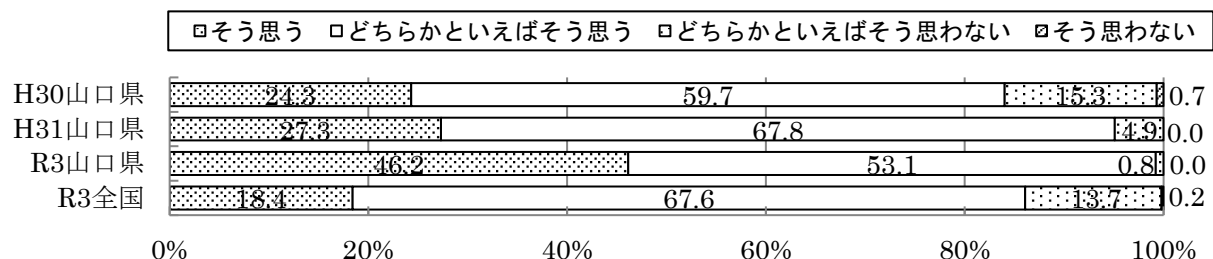
ア 課題解決に向けて主体的に取り組む子どもの姿

- 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている学校の割合は全国と比べて高く、「そう思う」と回答している学校の割合が、例年より高まっている。

【小学校】 29 児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている



【中学校】 29 生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている

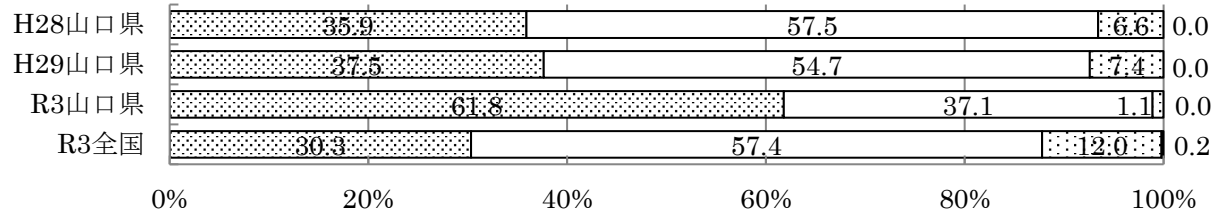


イ 学習活動の工夫

○ 授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた学校の割合は全国と比べて高く、「よく行った」と回答している学校の割合が、例年より高まっている。

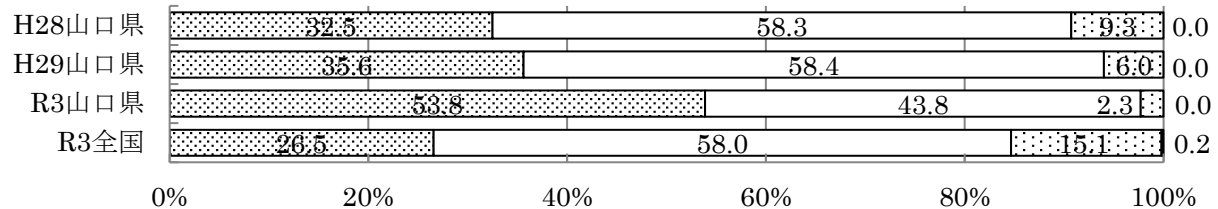
【小学校】 34 授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



【中学校】 34 授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行わなかった □全く行わなかった

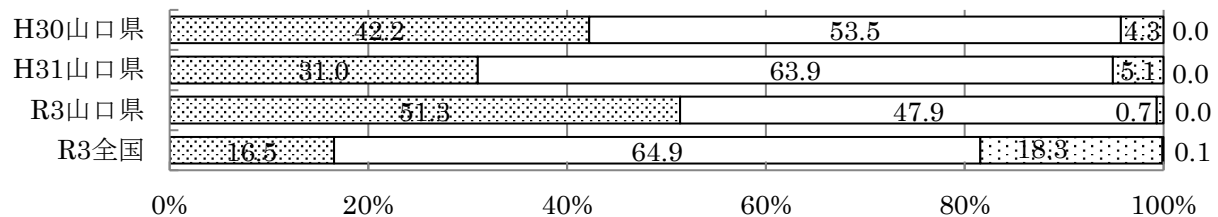


ウ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かす機会の設定

○ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた学校の割合は、全国と比べて高く「よく行った」と回答している学校の割合が、例年より高まっている。

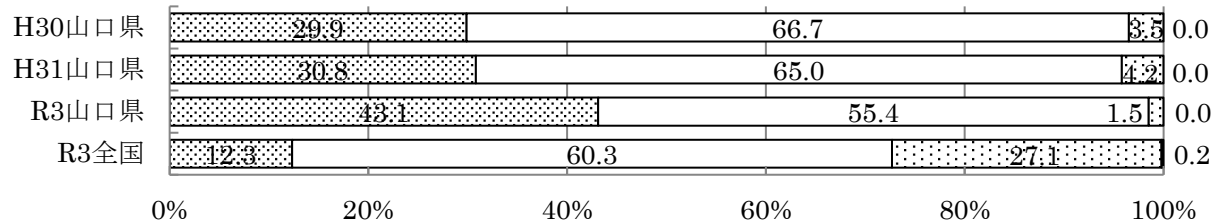
【小学校】 37 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた

□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



【中学校】 37 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた

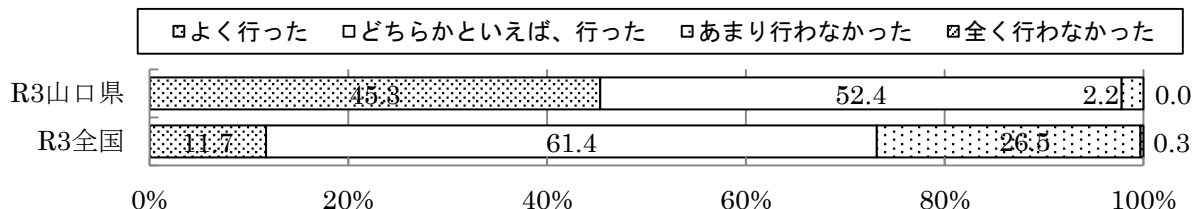
□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



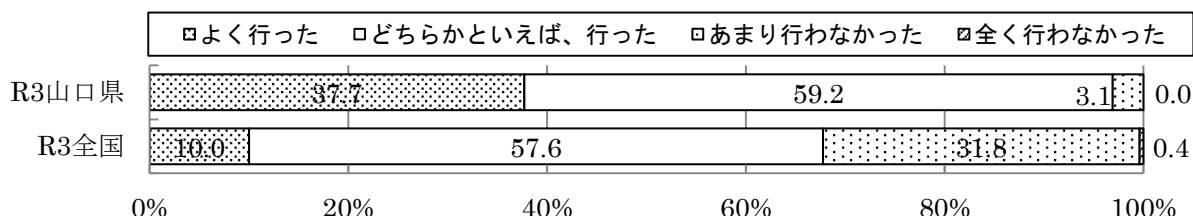
エ 過程を重視した学習指導

- 知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に想像したりすることに向かう過程を重視した学習を計画的に取り入れた学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 38 知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に想像したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れた



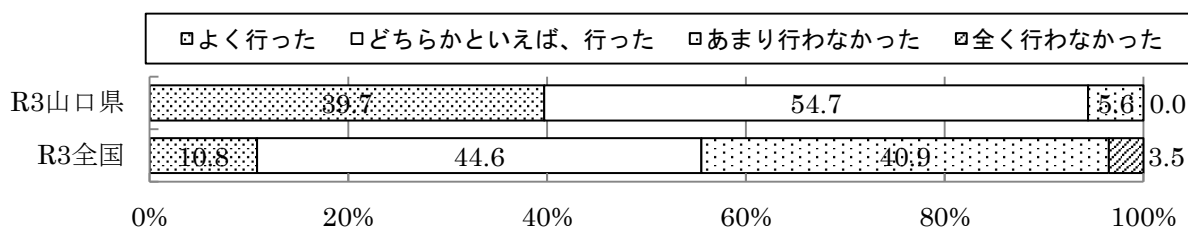
【中学校】 38 知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に想像したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れた



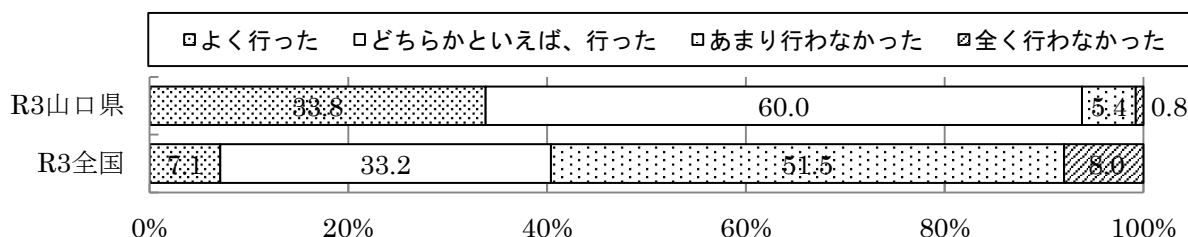
オ 調べたことや考えたことを文章でまとめる指導

- 各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを400字詰め原稿用紙2枚、3枚程度で児童生徒にまとめさせる指導をした学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 39 各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800字（400字詰め原稿用紙2枚）程度で児童にまとめさせたことがあった



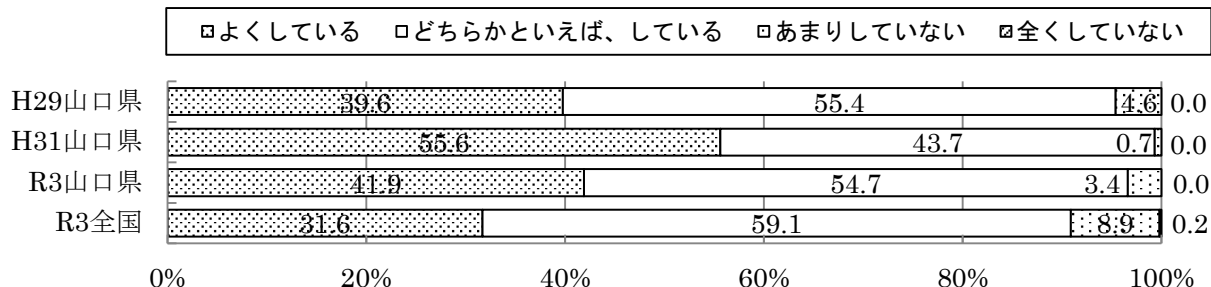
【中学校】 39 各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを1200字（400字詰め原稿用紙3枚）程度で生徒にまとめさせたことがあった



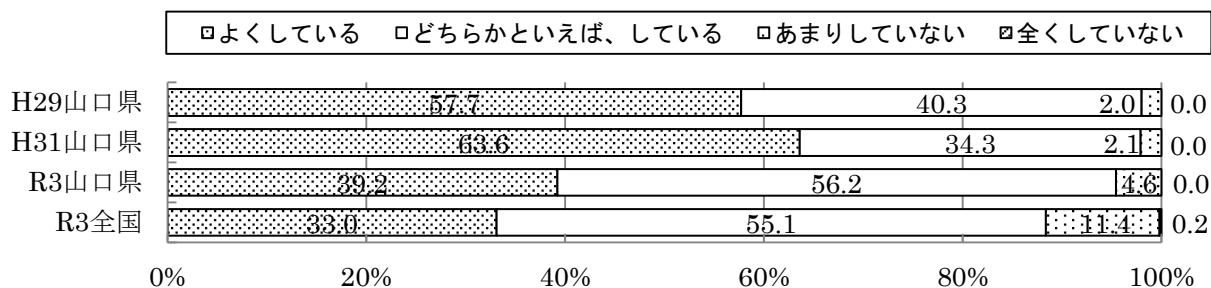
カ 総合的な学習の時間における指導

- 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている学校の割合は、全国と比べて高いものの、例年より減少している。

【小学校】 4 1 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている



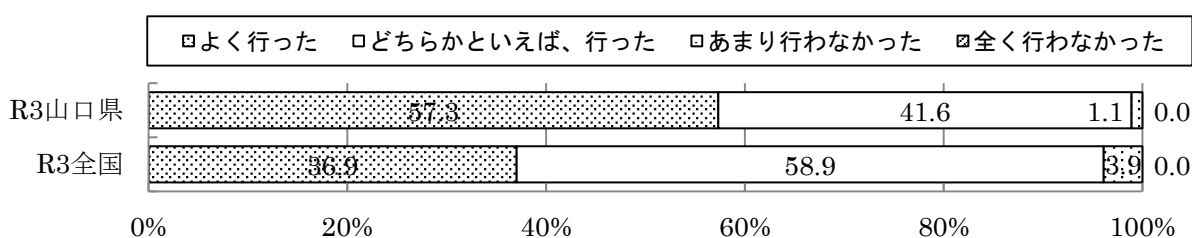
【中学校】 4 1 総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている



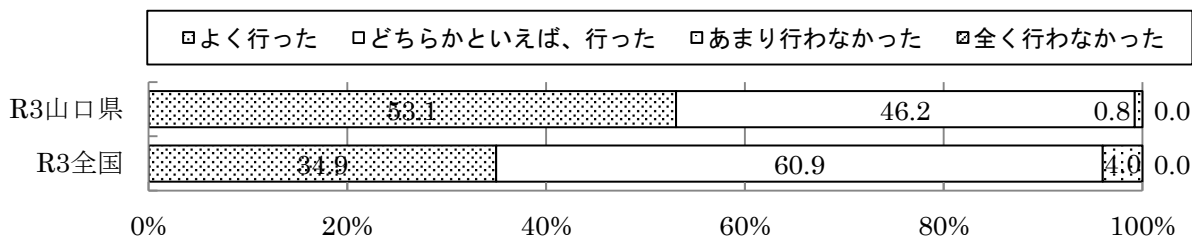
キ 指導改善や学習改善につながる学習評価

- 児童生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけた学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 4 5 児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけた



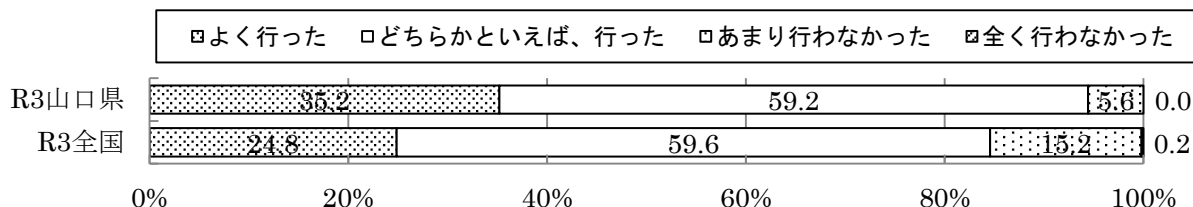
【中学校】 4 5 生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけた



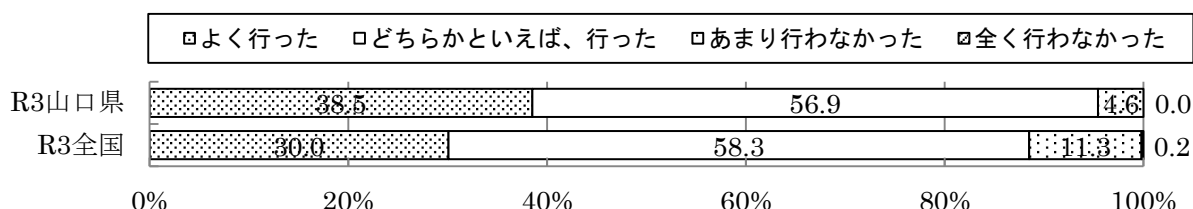
ク 評価規準や評価方法の明確化・共有化、校内組織の活用

- 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をした学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 4 7 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をした



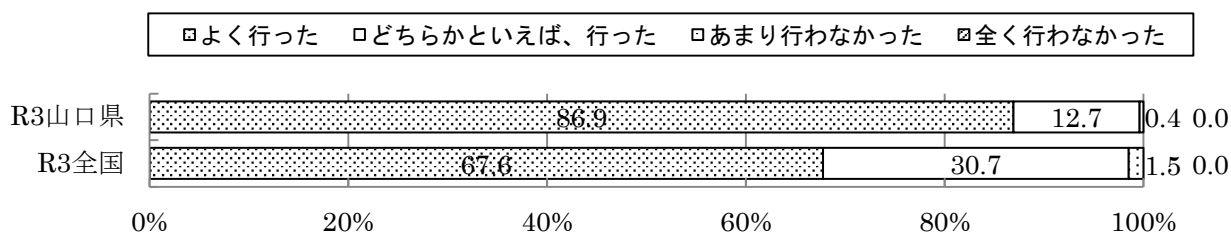
【中学校】 4 7 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用など、組織的かつ計画的な取組をした



ケ 目標（めあて・ねらい）と振り返りのある授業

- 授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 4 8 授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた



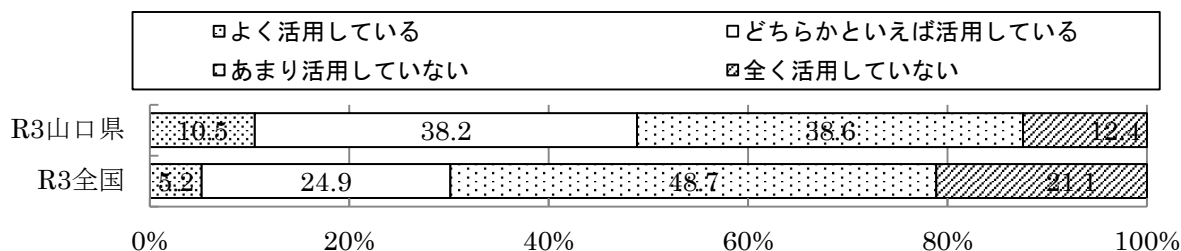
【中学校】 4 8 授業の中で目標（めあて・ねらい）を生徒に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた



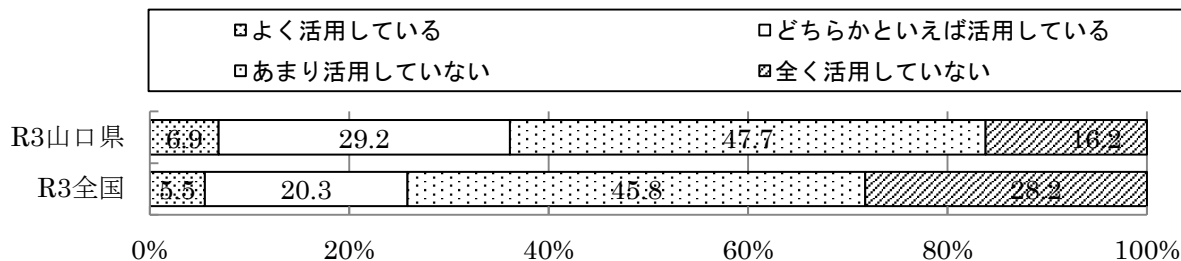
コ ICT機器を活用した児童生徒同士のやりとり

- 児童生徒同士がやりとりする場面で、コンピュータなどのICT機器を活用していると回答した学校の割合は、全国と比べて高いが、活用していないと回答している学校の割合の方が高い。

【小学校】 72 【ICT機器を活用した取組】児童同士がやりとりする場面



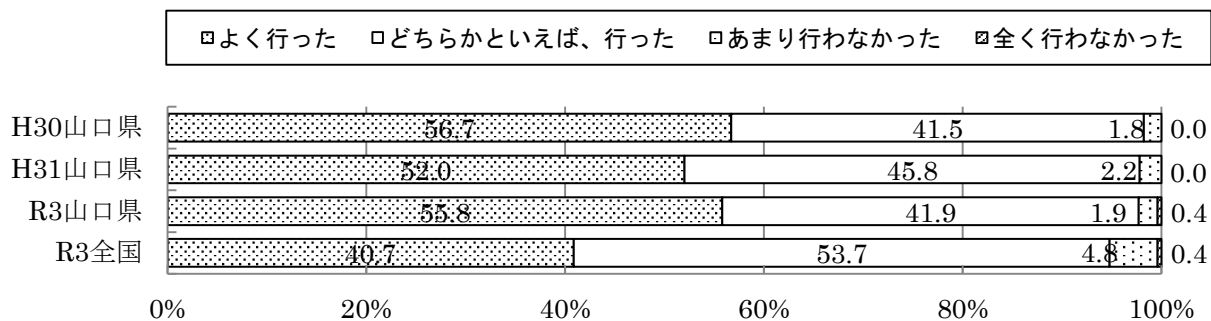
【中学校】 72 【ICT機器を活用した取組】生徒同士がやりとりする場面



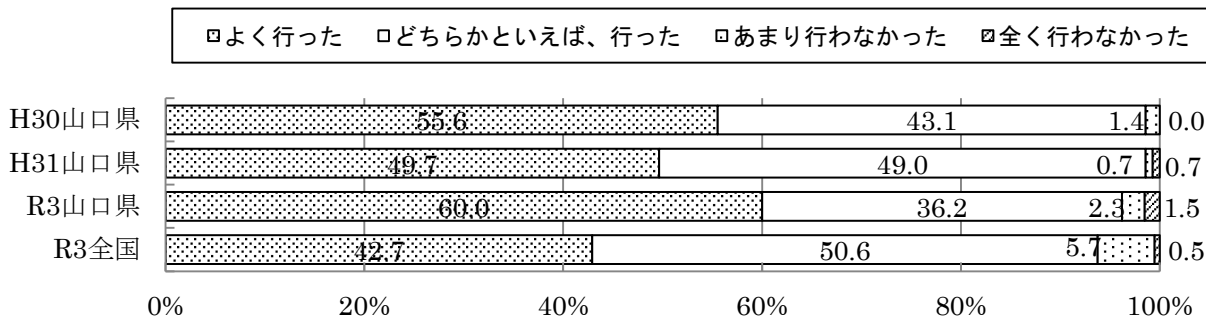
サ 特別支援教育についての理解と、児童生徒の特性に応じた指導の工夫

- 学校の教員が、特別支援教育について理解し、前年度までに、授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫を行った学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 76 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫を行った



【中学校】 76 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫を行った



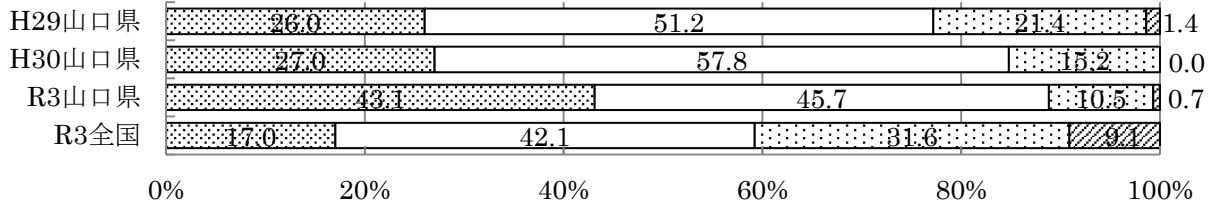
③ 学校・家庭・地域との連携

ア 教育課程に関する小・中学校共通の取組

○ 近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合は、全国と比べて高い。

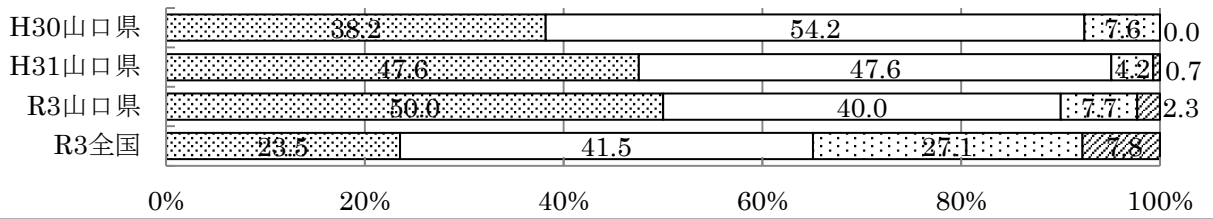
【小学校】 77 近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った

□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



【中学校】 77 近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った

□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行わなかった □全く行わなかった

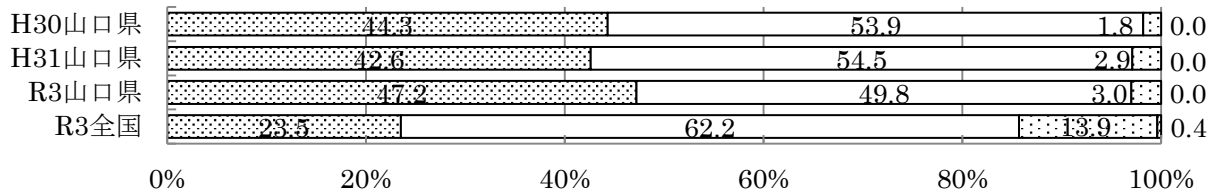


イ 教育課程の趣旨について、家庭や地域と共有する取組

○ 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合は、全国と比べて高い。

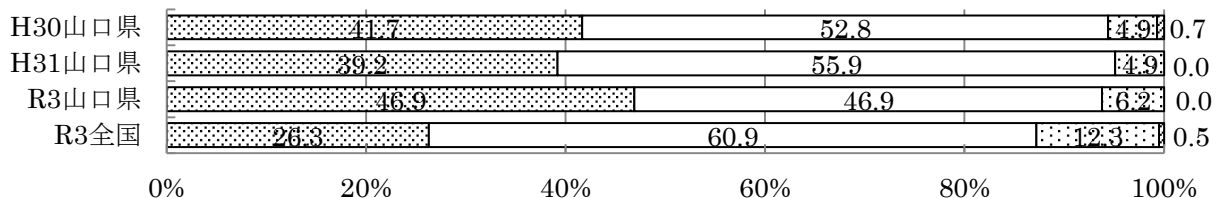
【小学校】 81 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている

□よくしている □どちらかといえば、している □あまりしていない □全くしていない



【中学校】 81 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている

□よくしている □どちらかといえば、している □あまりしていない □全くしていない

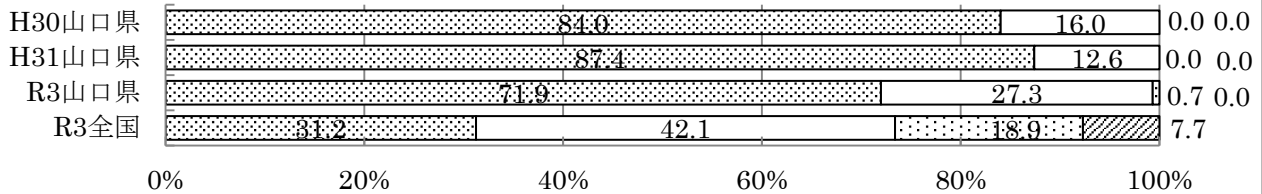


ウ 保護者や地域の人との協働による活動の実施

- 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った学校の割合は、全国と比べて高いものの、例年より減少している。

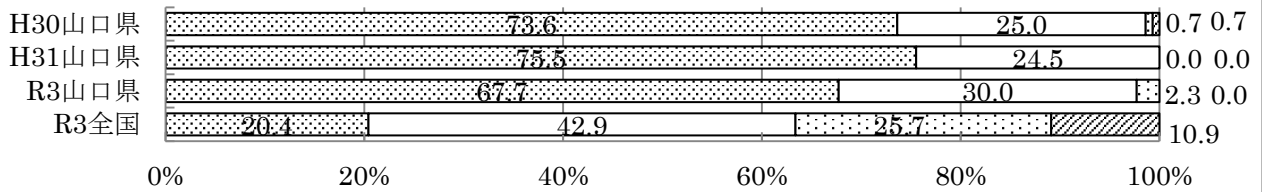
【小学校】 8 3 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った

□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



【中学校】 8 3 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った

□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行わなかった □全く行わなかった

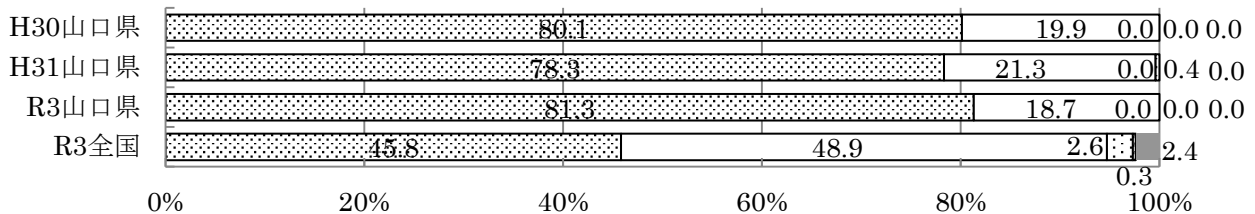


エ 学校の教育水準の向上への効果

- 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があったと回答している学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向にある。

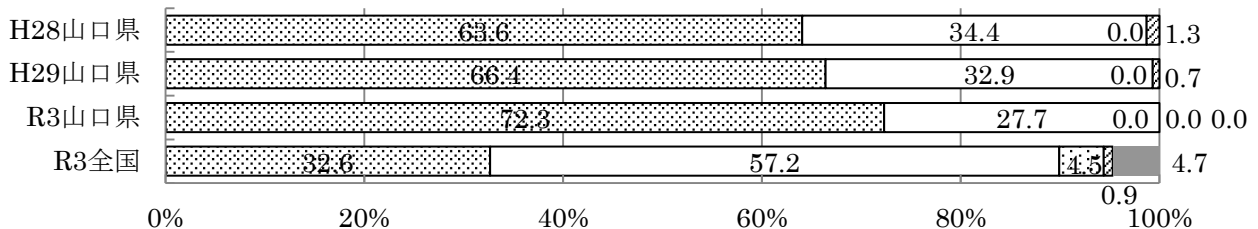
【小学校】 8 4 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった

□そう思う □どちらかといえばそう思う
□どちらかといえばそう思わない □そう思わない
■取組を行わなかった



【中学校】 8 4 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった

□そう思う □どちらかといえばそう思う
□どちらかといえばそう思わない □そう思わない
■取組を行わなかった



④ 家庭学習・調査結果の活用

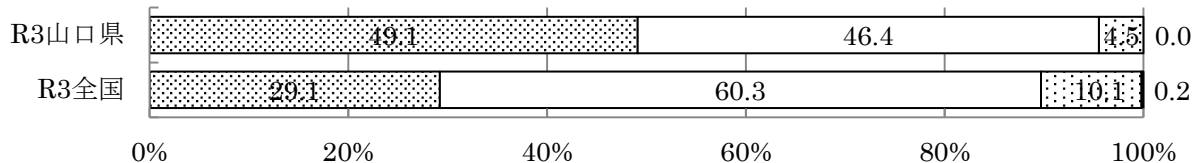
ア 児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かす取組

○ 児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしている学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】

87 家庭学習の取組として、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かす

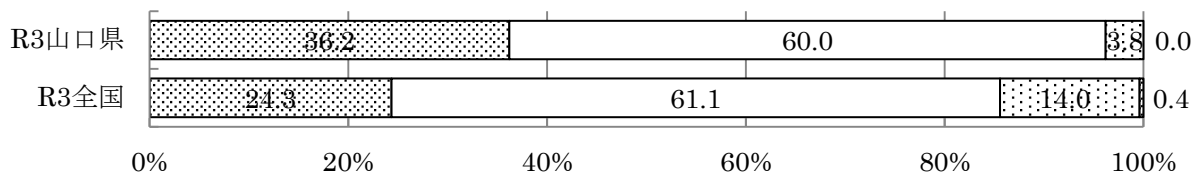
□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



【中学校】

87 家庭学習の取組として、学校では、生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かす

□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行わなかった □全く行わなかった



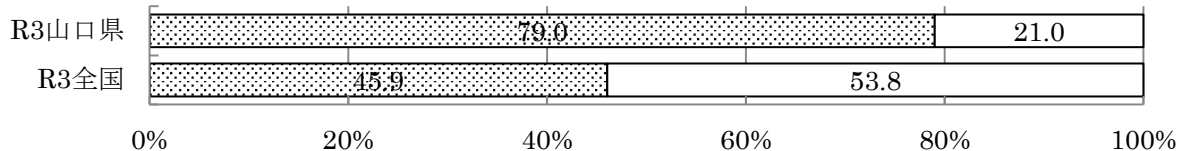
イ 全国学力・学習状況調査の問題の活用

○ 全国学力・学習状況調査の問題を、保護者や地域の人の学校教育活動への協力・連携を進めるために活用している学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】

88-9 全国学力・学習状況調査の問題を、保護者や地域の人の学校教育活動への協力・連携を進めるために活用している

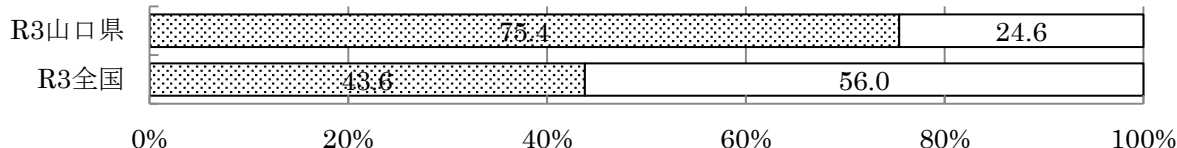
□はい □いいえ



【中学校】

88-9 全国学力・学習状況調査の問題を、保護者や地域の人の学校教育活動への協力・連携を進めるために活用している

□はい □いいえ



3 学力向上に向けた今後の取組

県教委、各市町教委、各学校が連携して、以下の二つに取り組む。

- ◆「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤とし、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の三つの視点からの取組を推進するとともに、検証改善委員会からの客観的評価を受け検証改善サイクルに取り組む。
- ◆新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、子どもたち一人ひとりの確かな学力の定着と向上を図る。

は今回の調査結果に関連する部分

学校の組織力の充実

- ◆全校体制によるカリキュラム・マネジメント
 - ・教育課程説明会、管理職リーダーシップアップ研修、教育課程研究指定校研究発表会等の成果復伝、教育活動への積極的な反映
- ◆全校体制による年間2回の検証改善サイクルの活用
 - ・全国調査と学力定着状況確認問題の活用による課題解決に向けた取組の検証、改善
- ◆分析結果を活用した課題の焦点化と課題解決
 - ・調査結果の分析結果による、研修の改善、学力向上に向けた取組の充実、学び直しや家庭学習の充実等の推進
- ◆校内研修の活性化による組織的な授業改善
 - ・校長のリーダーシップによる、組織的・継続的な研修の推進
 - ・県教委作成資料の活用、小学校における授業交換や専科指導の活用による教科担任制の推進、中学校における教科の枠組みを越えた授業研修の推進等
 - ・ICTの活用等による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
- ◆きめ細かな指導体制づくり
 - ・子どもたちの状況に応じたきめ細かな指導（よいところを認める、分からないところを教える等）の充実
 - ・全教職員や地域人材の活用による組織的な補充学習の促進

教員の授業力の向上

- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、日々の授業計画の作成をはじめとした授業改善の推進
 - ・課題解決や探究の過程を重視した学習機会の設定、話し合いで考えを深め広げる力や身に付けたことを他の学びに生かしたりする力の育成に向けた指導の充実
 - ・1人1台端末を活かした新たな学びの実現に向け、これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることで資質・能力を効果的に育成することをめざした授業改善の推進
 - ・特別支援教育について理解し、児童生徒の特性に応じた指導の工夫
- ◆教科の専門性やキャリアステージに応じた研修
 - ・若手・中堅・管理職を対象とした各研修会の成果の復伝、教育活動への積極的な反映
- ◆やまぐち総合教育支援センターとの連携
 - ・「やまぐち総合教育支援サイト」等の学習指導用資料の活用促進
- ◆校内研修等の充実による授業改善
 - ・学力向上推進リーダー等を活用した校内研修の充実

学校・家庭・地域の連携力の強化

- ◆コミュニティ・スクールの仕組みの活用
 - ・学校運営協議会における、学力課題の共有や課題解決のための熟議の促進
 - ・地域の子どもの自己肯定感の向上、いじめ撲滅、読書活動の推進等に向けた啓発活動の充実
 - ・地域人材の参加によるユニット型研修の促進
 - ・教育課程の趣旨の共有及び、地域連携による学校教育水準の向上の検証、改善
- ◆情報共有による学習習慣の確立
 - ・家庭や地域への情報提供等による連携強化、学力分析支援ツールによる個人票の活用による、家庭学習（時間の確保、自分で計画を立てる等）習慣の向上
 - ・補充学習等における「やまぐちっ子学習プリント」の活用促進
- ◆異校種間連携の充実による学習環境づくり
 - ・授業力向上実践研究校、小中高連携英語教育推進校・連携校による研究の推進
 - ・小中高連携カリキュラムや「学校・地域連携カリキュラム」作成等による小中一貫教育の推進